



## 一般職業紹介状況 (平成25年3月分及び平成24年度分)

《資料を参照する場合は資料名の後のマークをダブルクリックしてください》

「平成25年3月は新規求人倍率が2.11倍と58ヶ月ぶりに2倍台に改善」

「平成24年度は都内のハローワーク紹介での採用が15万件突破」

### 3月の特徴(東京の雇用情勢)

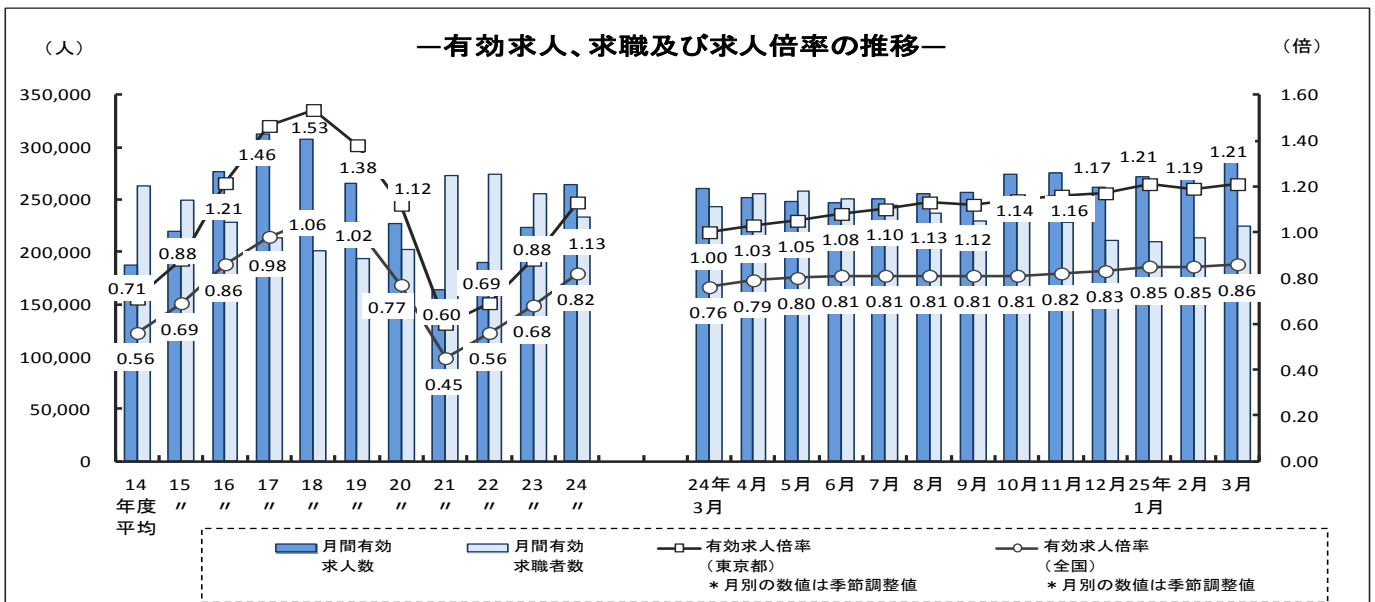
- 平成25年3月分の有効求人倍率(季節調整値)は1.21倍で、前月より0.02ポイント上昇した。
- 平成25年3月分の新規求人数は前年同月比9.4%増で、37ヶ月連続で前年同月を上回った。
- 平成25年3月分の新規求人倍率(季節調整値)は2.11倍で、前月より0.14ポイント上昇した。

#### 1 有効求人倍率・求人・求職の状況

- 有効求人数(原数値)は290,667人(前年同月比11.5%増)で、35ヶ月連続で前年同月を上回った。[最近の雇用失業情勢
- 有効求職者数(原数値)は224,258人(前年同月比7.5%減)で、31ヶ月連続で前年同月を下回った。[最近の雇用失業情勢
- 有効求人倍率(季節調整値)は1.21倍(前年同月比0.21ポイント上昇)となり、前月の1.19倍より0.02ポイント上昇した。リーマンショック直前の平成20年8月(1.23倍)の水準に近づいている。

[最近の雇用失業情勢

なお、職種別の有効求人倍率(常用)は職業別有効求人倍率及び産業別新規求人数を参照。  
正社員有効求人倍率(原数値)は0.77倍となり、前年同月の0.66倍より0.11ポイント上昇した。[正社員の職業紹介状況



## 2 新規求人倍率・求人・求職の状況

- 新規求人数（原数値）は103,088人（前年同月比9.4%増）で、37ヶ月連続で前年同月を上回った。〔最近の雇用失業情勢 〇〕

なお、産業別の新規求人数（主要産業）は職業別有効求人倍率及び産業別新規求人数を参照。〔〇〕

正社員の新規求人数は、43,848人（前年同月比2.6%増）で、11ヶ月連続で前年同月を上回った。新規求人（全数）に占める正社員求人数は42.5%となった。

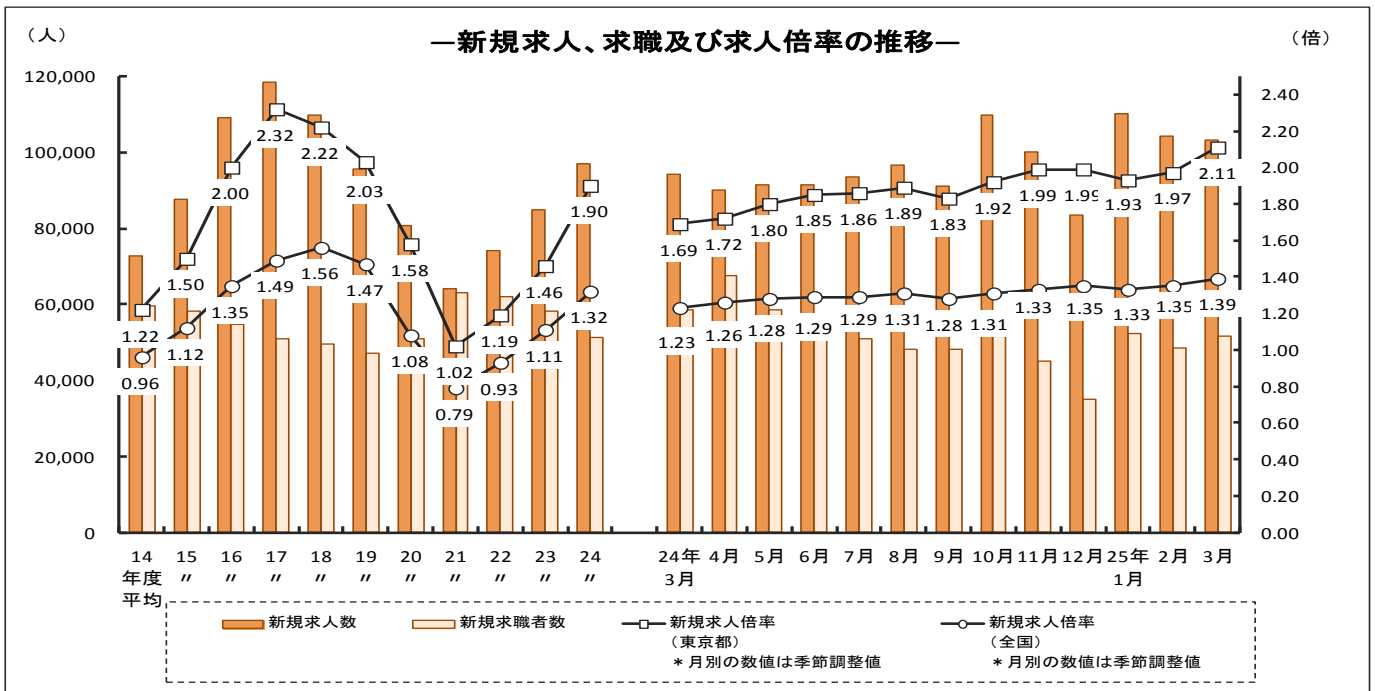
〔正社員の職業紹介状況 〇〕

- 新規求職者数（原数値）は51,755人（前年同月比11.6%減）で、19ヶ月連続で前年同月を下回った。〔最近の雇用失業情勢 〇〕

新規求職者数（一般常用）のうち、在職中の者は10,262人（前年同月比6.5%減）、離職者は23,355人（前年同月比12.2%減）となった。離職者のうち、事業主都合離職者は8,181人（前年同月比18.0%減）で、36ヶ月連続で前年同月を下回っており、自己都合離職者は13,797人（前年同月比8.3%減）で、22ヶ月連続で前年同月を下回った。

〔新規一般常用求職者の態様別推移 〇〕

- 新規求人倍率（季節調整値）は2.11倍（前年同月比で0.42ポイント上昇）となり、前月の1.97倍より0.14ポイント上昇した。リーマンショック前の平成20年5月（2.00倍）以来、58ヶ月ぶりに2倍台となった。〔最近の雇用失業情勢 〇〕



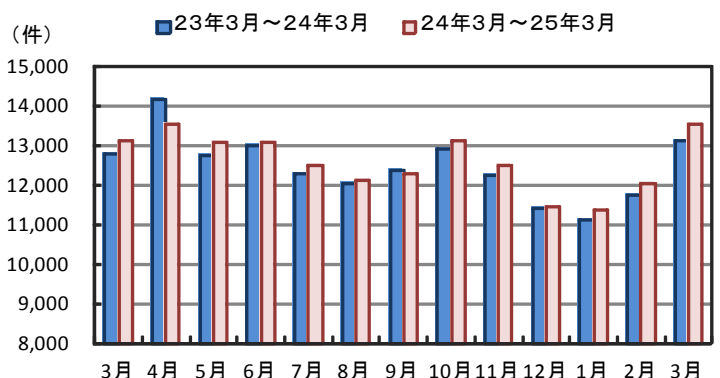
## 3 就職者の状況

- 就職件数は、13,549件（前年同月比3.1%増）で、6ヶ月連続で前年同月を上回った。〔最近の雇用失業情勢 〇〕

一般、パート別の状況をみると、一般は8,296件（前年同月比1.5%増）で、3ヶ月連続で前年同月を上回った。パートは5,253件（前年同月比5.6%増）で、2ヶ月連続で前年同月を上回った。

〔職業紹介取扱状況 〇〕

### 就職者の状況



- 正社員就職件数は、6,007 件で（前年同月比 0.4%減）、ほぼ前年並みに留まった。  
また、就職件数（全数）に占める正社員就職件数は 44.3%となった。

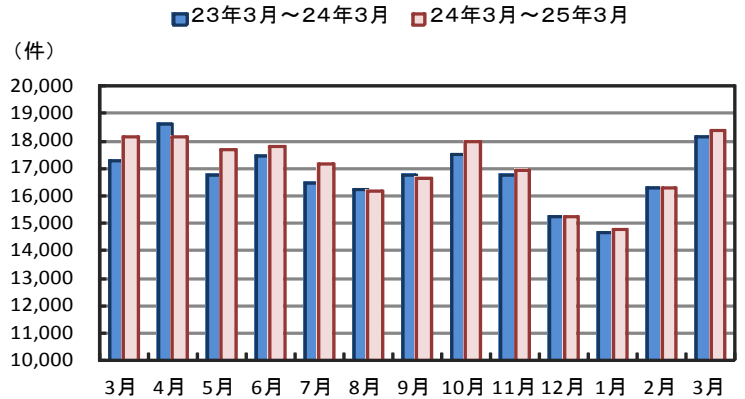
〔正社員の職業紹介状況 〓〕

#### 4 求人充足の状況

- 求人充足数は、18,372 件（前年同月比 1.2%増）で、6ヶ月連続で前年同月を上回った。〔最近の雇用失業情勢 〓〕  
一般、パート別の状況をみると、一般は 11,522 件（前年同月比 1.5%減）で、2ヶ月連続で前年同月を下回った。パートは 6,850 件（前年同月比 6.0%増）で、2ヶ月連続で前年同月を上回った。

〔職業紹介取扱状況 〓〕

#### 求人充足の状況



#### 平成24年度の特徴(東京の雇用情勢)

- 平成24年度の就職件数は150,775件で前年度比1.0%増と、4年連続で前年度を上回った。
- 平成24年度の有効求人倍率は1.13倍で、前年度より0.25ポイント上昇した。
- 平成24年度の新規求人数は前年度比14.4%増で、3年連続で前年度を上回った。
- 平成24年度の新規求人倍率は1.90倍で、前年度より0.44ポイント上昇した。

#### 1 有効求人倍率・求人・求職の状況

- 有効求人数は 3,164,893 人（前年度比 17.9%増）で、3年連続で前年度を上回った。  
〔最近の雇用失業情勢 〓〕
- 有効求職者数は 2,794,149 人（前年度比 8.8%減）で、2年連続で前年度を下回った。  
〔最近の雇用失業情勢 〓〕
- 有効求人倍率は 1.13 倍となり、前年度より 0.25 ポイント上昇した。リーマンショック時の平成 20 年度（1.12 倍）以来、4 年ぶりに 1 倍台となった。〔最近の雇用失業情勢 〓〕  
なお、職種別の有効求人倍率は**主な職業別常用有効求人求職状況を参照** 〓。  
正社員有効求人倍率は 0.71 倍となり、前年度の 0.57 倍より 0.14 ポイント上昇した。  
〔正社員の職業紹介状況 〓〕

#### 2 新規求人倍率・求人・求職の状況

- 新規求人数は 1,164,912 人（前年度比 14.4%増）で、3年連続で前年度を上回った。  
平成 18 年度から徐々に減少した新規求人数は、平成 20 年のリーマンショックを機に平成 21 年度に大きく減少した。平成 22 年度からは増加傾向で推移しており、平成 24 年度はリーマンショック前の平成 19 年度（1,145,902 人）の水準まで回復した。〔最近の雇用失業情勢 〓〕  
なお、職種別の新規求人数は**主な職業別常用新規求人状況を参照** 〓。産業別の新規求人数は**産業別・事業所規模別新規求人状況を参照** 〓。  
正社員の新規求人数は、544,229 人（前年度比 9.4%増）で、3年連続で前年度を上回った。  
新規求人（全数）に占める正社員求人数の割合は 46.7%で、2年連続で前年度を下回った。  
〔正社員の職業紹介状況 〓〕

- 新規求職者数は 613,600 人（前年度比 12.2%減）で、3 年連続で前年度を下回った。

〔最近の雇用失業情勢 〇〕

新規求職者数（一般常用）のうち、在職中の者は 105,058 人（前年度比 4.0%減）、離職者は 300,388 人（前年度比 12.5%減）となった。離職者のうち事業主都合離職者は 110,123 人

（前年度比 16.8%減）で、3 年連続で前年度を下回っており、自己都合離職者は 172,841 人（前年度比 9.0%減）で、3 年連続で前年度を下回った。〔新規一般常用求職者の態様別推移 〇〕

- 新規求人倍率は 1.90 倍と、前年度より 0.44 ポイント上昇した。平成 22 年度から回復傾向で推移しており、リーマンショック前の平成 19 年度（2.03 倍）の水準に近づいている。

〔最近の雇用失業情勢 〇〕

### 3 就職者の状況

- 就職件数は、150,775 件（前年度比 1.0%増）で、4 年連続で前年度を上回った。

平成 18 年度から平成 20 年度まで減少傾向であったが、平成 21 年度から増加傾向で推移しており、平成 24 年度は昭和 48 年（168,147 件）以来、39 年ぶりに 15 万件を突破した。

〔最近の雇用失業情勢 〇〕

一般、パート別の状況をみると、一般は 89,832 件（前年度比 1.1%増）で、3 年連続で前年度を上回った。パートは 60,943 件（前年度比 0.8%増）で、わずかに増加した。

〔職業紹介取扱状況 〇〕

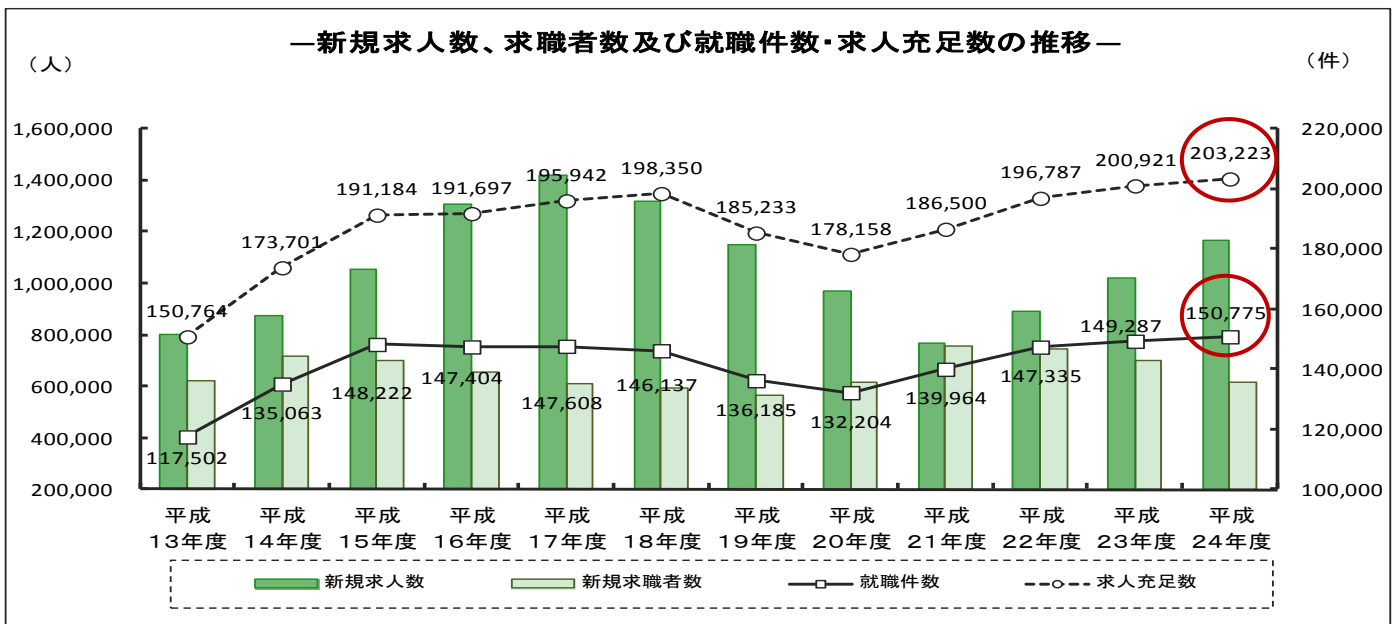
### 4 求人充足の状況

- 求人充足数は、203,223 件（前年度比 1.1%増）で、4 年連続で前年度を上回った。

平成 19 年度、20 年度と減少傾向であったが、平成 21 年度から増加傾向で推移しており、平成 23 年度、平成 24 年度は 2 年連続で 20 万件台を維持している。〔最近の雇用失業情勢 〇〕

一般、パート別の状況をみると、一般は 124,423 件（前年度比 1.0%増）で、3 年連続で前年度を上回った。パートは 78,800 件（前年度比 1.4%増）で、ここ数年増加傾向にある。

〔職業紹介取扱状況 〇〕



《参考資料》

- \* 主な職業別常用新規求人状況（平成 25 年 3 月分）
- \* 産業別新規求人の推移（平成 25 年 3 月分）

～入職経路別にみた東京労働局の就職件数～

平成23年に厚生労働省が実施した「雇用動向調査」の結果によると、全国のハローワークの紹介で入職した方は1,323,500人で入職者全体の21.0%となっている。民間職業紹介所の紹介は2.4%、学校の紹介は6.7%、広告によるものは31.0%、縁故によるものは21.3%となっている。

平成24年度の東京労働局の就職件数は150,775人で、全国のハローワークの紹介による入職者の11.4%を占めている。

※雇用動向調査での入職者には新規学校卒業者が含まれ、事業所の新規設立に伴うものは計上されていない。

～用語の解説～

- \* **新規求人数**……………ハローワークにおいて当該期間中に受け付けた求人数。
- \* **有効求人数**……………「前月から繰り越された有効求人数」と当月の「新規求人数」の合計。
- \* **新規求職者数**……………ハローワークにおいて当該期間中に新たに受け付けた求職申込の件数。
- \* **有効求職者数**……………「前月から繰り越された有効求職者数」と当月の「新規求職者数」の合計数。
- \* **求人倍率**…………… 求職者数に対する求人数の割合。
  - ⇒ **新規求人倍率**: 新規求人数 ÷ 新規求職申込件数
  - ⇒ **有効求人倍率**: 有効求人数 ÷ 有効求職者数なお、求人倍率の「季節調整値」とは、1年を周期として繰り返す季節的変動要因を一定の方法により取り除いて計算した数値をいう。(12月までの1年分のデータが集まった段階で過去の全データが修正の対象となり、毎年1月分の公表に併せて「季節調整値替え」が行われる。)
- ⇒ **正社員有効求人倍率**: 正社員の有効求人数 ÷ パートタイムを除く常用の有効求職者数
- ただし、パートタイムを除く常用の有効求職者には派遣労働者や契約社員を希望する者も含まれるため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。
- \* **就職件数**……………都内のハローワークにおいて求職申込を受け付けた求職者に対して、全国のハローワークで受理した求人を紹介、就職が確認された件数。
- \* **充足数**……………都内のハローワークにおいて受け付けた求人に対して、全国のハローワークで紹介、就職が確認された件数。